

MLA48

NEWS
LETTER

2020年9月13日
No.185

MLA48プロジェクト

121 Members



9月度ミーティング(MLA48 通算第142回)

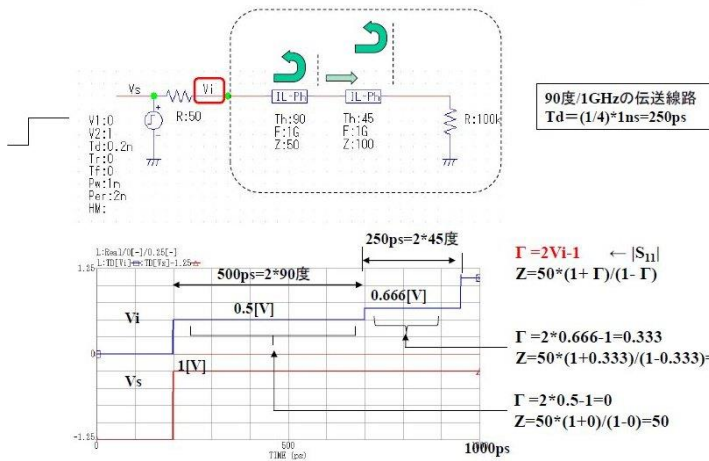
9月13日(日)の**MLA48プロジェクト**, キホン編は [JASKVK/1 小川さん](#)の「TDRとデ・エンベディング」. Webinarで勉強しました. 安価なVNAにTDR(時間領域解析)機能が付いたので, Sパラメータの解説から始めて, 何が出来るのか解説いただきました. アンテナの測定には給電ケーブルが必要ですが, 任意長のケーブルの影響を除いて, アンテナを直接見込んだ測定結果を得るために必要な技法も学びました.

休憩後の**フリー編**は, 前回に続いて[BX6ABC ヘンリーさん](#)の「燈台近傍の実験」. 今回は三重県のJH2RMU局から電波を出してもらい, 燈台が受信アンテナとして働いているときにその周りをMLAで受信した結果です.

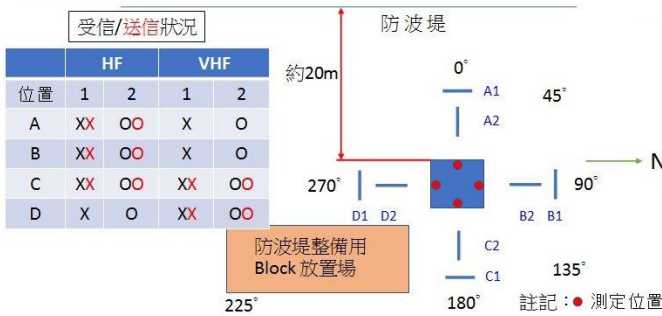
14MHzは直径1mのMLA(垂直置き), 144MHzは自作の3el YAGI(垂直置き)です. 14MHzは鉄塔から25m離れるとMLA本来の8の字パターンの指向性が得られたとのこと(144MHzは10m).

また鉄塔の直下では, 図のようにタワーに対してMLA面が直交しているときに強く受信できたということです.

つぎに, [JF1IQQ 下地さん](#)からは「人工衛星追跡用のコンパクトなローテータ」製作の発表. お得意のWiFiコントロールで, [Maker Fair Tokyo 2020](#)に出



Test Position



展が決まったとのこと. 現物は会場でご覧ください.

[JA9BQE/1 橋場さん](#)からは「MLA用アンテナチューナーの製作」. 仮称はD-SAT (Digital

Simple Antenna Tuner). その名の通り, リターンロスブリッジで検出したSWRのみでMLAのモーターを制御. 使用可能周波数は, 50KHz-500MHzと広帯域です. [JA9BSL 野村さん](#)からは, 直径1.7mのMLAを山頂で組み立てて運用された動画や, 基板で自作されたバリコンも解説していただきました.

